

2025年JCREESスラブ・ユーラシア研究サマースクールプログラム

開催期日：2025年8月28日（木）～29日（金）

会場：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター4階大会議室（札幌市北区北9条西7丁目）

形式：対面

プログラム

8月28日（木）

8:50：開会

9:00-10:00：服部文昭（京都大学名誉教授）「古代教会スラヴ語の誕生をめぐって」

10:15-11:15：高柳聡子（早稲田大学）「抵抗の表現としてのロシア・フェミニズム文学」

11:30-12:30：廣田千恵子（SRC）「移民による“故郷”の形成：モンゴル国カザフ人社会の装飾文化の変遷からみえること」

14:00-18:00：学生による発表

8月29日（金）

9:00-10:00：藤本健太郎（小樽商科大学）「ソ連初期対日政策の形成と「失敗」」

10:15-11:15：大串敦（慶應義塾大学）「ベラルーシの統治エリート：シロヴィキによる「集団的ルカシェンコ」体制へ？」

11:30-12:30：安達祐子（上智大学）「経済制裁下のロシア：原子力分野に着目して」

14:00-18:00：学生による発表

※講義

総花的な講義ではなく、地域、時代、学問分野を限定した講義が行われる。スラブ・ユーラシア研究の魅力・面白さをアピールする講義となる。講義は30分、質疑が30分。

※学生による発表

1人当たり持ち時間30分（発表20分、質疑10分）。

問い合わせ先：ss_office@slav.hokudai.ac.jp（スラブ・ユーラシア研究センター事務サマースクール担当）

※本サマースクールは、JCREESからの支援により、JCREESが主催、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターが共催して開催するものである。一部の学部学生の支援には、同センターの百瀬宏研究奨励基金も使われる。